





税は二敗納せるも煙草税は殆んど納せざる能はず煙草は納税せる土の收獲物なれば之れに對して課税には重複なりと稱して頑固して之れにせざるの風あり長崎地方に在ては家の一節を破壊し若くは邑外移轉して屋に對する課税を免れんと欲するもあり兩進中に於ても之れを看る康爾の如きは古來三百餘戸を有せし往年學堂の亂に際し其大部を燬絶され在僅かに百餘戸に過ぎず斯くの如き部落に對し課税に以政府の方針にらざるべしと稱し地方官民一般に納税を免れんとしたるが近來納税するも若く増加せり京畿近關城に於ては家税の賦課を過當として九月廿七日多人民部衙門に集合し減税を請願するに及びて地方費賦課法の發布に伴ひ市場税を課せらるゝに至り一部商人間不滿を懷き遂に市場を閉かふことになり及び是又當局の説服せしむ

## 漁業認可の方法

●重要事務の審査會

工部は他の各部と自ら其性質を異  
産業上の許諾事務多し而して是等  
の事務は權利關係に關するのみな  
民の休戚に關する事至大なるを  
最も慎重に處理せざれば産業の發  
其大なる影響を及ぼすの虞れあり  
合なれに數日前部内に重要事務審査  
委員に任命し兎許諾營業未墾地及  
野の貸付の可否並に重要な事務  
に關する審査を爲す事となり廿五  
日午後一時より其一回を開催する由  
と云へ

●中央市場の新設置

理事廳監獄跡を市場となし度支部  
地理事務所並に多しと云ふて民司

昨、新津町長丸は餘程の一週間の爲に休息せしめ、二十五日より向ふ一週間、一週間は對  
於薩摩丸、會下山丸の三隻に對して運  
に從事し、尙ほ會下山丸は毎兩數  
に釜山港を航駁する筈なりと云  
大韓水道の工事金  
警會社が通日各官憲を水源地に  
たる際其實明する處によれば、株  
額は五百萬圓にして、工事の爲め  
の實際、現出金は三百萬圓な  
る。誇大なる吹聴を爲し居りと云ふ  
理由書編纂委員會  
濟研究會にて楚海急設理由書を  
に決したる由は、既報の如く、な  
る。廿六日午後六時三十分より、良役  
右に關する編纂委員會を開き、第  
三  
殿陵參奉規程制定  
地方に於ける殿陵には參奉なる  
置きあるが、彼等は統まつて在職  
其職務を蔑にするものあるを  
最嚴重

議所問題　龍山に商業會議所  
の要否は從來龍山民團に於  
て疑問なき一問題たりしが尙早齡者  
の目近く其設立を見るべし熱心  
なるを以て斯くしては新興の龍山  
小奮動、開歌的發展策に疲  
れるものなりと茲に有志者相談  
經濟協會なるものを組織して  
事情を調査研究其指向を察  
民に對する助言若しくは忠告の  
發展に資する處あ  
下其準備中なりといふ

の寒氣　一日日本氣候嚴  
寒、雪を伴ふとする季節に  
仁川製鹽所に六等技師を訪  
問したる便概と起さん二十  
五日に涉り支那東海より  
本を襲ひたる可なり深き低氣  
のため日本に著しき風雨を起  
同時に滿洲より蒙古に掛けて  
大吹雪見ゆる

志間に  
檢軍の一  
似させし  
破産す  
近來に  
非常に  
花柳の  
て居る  
爲めと  
爲めに  
でクオ  
面黒い  
内には秋  
部に此れ  
然るじや  
代は彼  
ががあ  
ドウカ  
ど加

りとか、前車の覆へるを見て、  
 のめとすべしだ無附に、余計な真  
 が、恰憐とや云はん▲一時は  
 の運境にありし仁川の秋田が  
 如何なる風の吹き廻しにや  
 感の都合が宜しいとて、日  
 に出し、聲に豪遊を極め  
 掛けは撫順炭を鐵道に取次ぐ  
 成は亦之れを一手に販賣する  
 るかとか何んで石炭に因ん  
 ぶ話があるそうだ▲處で茲に  
 は前の仁川民團助役横山露タ  
 が南山の御前に哀願して  
 務官になるそうで、横山は秋田  
 さん恩人として尊敬して居る。  
 田の寵妓たる仁川淺岡の八千  
 が店出し當時から横山と關係  
 で、近頃秋田が是れを威附さ  
 横山の任官が取消されそうな  
 世間には込入つた事情の有る







